

第 10 回 構造色シンポジウムプログラム

日時:平成 21 年 11 月 13 日(金)

場所:日本ペイント株式会社、東京事業所・東京センタービル1F

13:00 シンポジウムの趣旨説明

セッション 1: 構造色の新しい実験方法

13:05 「構造色の新しい光学測定法」

吉岡伸也(大阪大学)

13:30 「高輝度X線で見える微細構造: 色の起源へのアプローチ」

齋藤彰(大阪大学 & SPring-8)



セッション 2: 特別講演

13:55 「コガネムシの色と液晶」

石川 謙(東京工業大学)

14:30 - 14:45 休憩

14:45 「アゲハチョウの擬態に関わる紋様・色素形成」

藤原 晴彦(東京大学)

セッション 3: 構造発色性材料

15:20 「コロイド結晶を利用した構造色フレークの製造法と構造色塗料」

高口 健二(日本ペイント株式会社)

15:45 「生体構造色の誘電体光学薄膜による再現」

飯田 晴久((株)ニコン)



16:10-18:00 ポスター発表

- ・「高分子ブロック共重合体を用いた構造色材料」 原 滋郎(浜松ホトニクス株式会社)
- ・「LIPS ~ 構造色レーザーマーキング技術 ~」 湯淺義之、竹之内健(東洋製罐グループ総合研究所)
- ・「シリカ粒子と構造色材料」 今井宏起、川中智司(富士化学㈱)
- ・「シリカ系有機 - 無機ハイブリッド塗膜の構築と構造色」
深澤 憲正、日紫喜 裕子、金 仁華(DIC 株式会社)
- ・「ネオンテトラの構造色 ~ 運動性メカニズムの検証」 松花 文太(大阪大学)
- ・「NS-FDTD 法を用いたモルフォチョウの構造発色のメカニズム」 朱 棟(大阪大学)
- ・「カラスの濡羽色の仕組み」 木下修一、李銀玉*、吉岡伸也、宮崎 淳、杉田昭栄* (大阪大学、*宇都宮大農)
- ・「モルフォ型発色における乱雑さの効果 - FDTD 解析による評価 - 」
米澤賢、村瀬淳一、赤井恵、桑原裕司、齋藤彰(大阪大学、理研 SPring-8)
- ・「モルフォ型構造発色体の大面積化・量産化」
村瀬淳一、渡辺弘行、米澤賢、野口俊司、二宮孝文、赤井恵、桑原裕司、齋藤彰
(大阪大学、理研、(株)イシワタ、キヤノンマシナリー(株))